



豊かな自然に、ひと、もの、まちが輝く健康都市、網走

市議会だより

第98号
(令和2年2月)

発行／網走市議会 編集／網走市議会広報委員会

【もくじ】

- トピックス・・・・・・・・・・2 P
- 議会報告会・・・・・・・・・・3 P
- 一般質問・・・・・・・・・・4 P～6 P
- 新庁舎建設特別委員会・・・7 P
- 議案審査結果
- 行政視察報告・・・・・・・・・・8 P

市民のみなさまの傍聴をお待ちしております

次の定例会は3月3日(火)
～3月23日(月) 開催予定です。

※詳細につきましては、議会事務局へ
お問い合わせください。

■問い合わせ
TEL 44-6111(内線281・282)



中継ホームページ
はこちらから

(表紙写真：大島秀昭さん撮影)

12月定例会のトピックス

令和元年第4回定例会の概要

網走市議会第4回定例会は昨年12月10日から19日の日程で開かれ、女満別空港ビルの株式売却による5520万円の歳入や網走厚生病院脳神経外科運営支援事業の1億9300万円の歳出を含む総額239億4818万円とする平成31年度一般会計補正予算案と、そのほか各特別会計補正予算案を審議可決しました。

総務経済委員会では土木総務費で本年から2ヶ年度限定の緊急自然災害防止対策事業費を活用して河川整備のため2500万円の補正予算について7カ所の河川整備のほかにトーブト川とオシヨツプ川の2カ所を追加し

て、工事による濁水の心配が少ない冬季間に整備することを確認しました。

また、国庫補助金の減額に伴い経費の減額補正案が相次ぎました。ロードヒーティングの整備事業は▲1250万円、呼人東藻琴線の道路ストック修繕事業は次年度繰延して▲2000万円、潮見鱒浦線歩道整備事業も▲3000万円、他にも港湾建設費で▲3400万円の補正となりました。これらは国の社会資本整備総合交付金が昨年9月の胆振東部地震の復興に優先して利用される事になったため当市の減額補正案を可決しました。



網走厚生病院脳神経外科運営支援事業

文教民生委員会では、網走厚生病院が行う脳神経外科の開設に伴う医療機器等の整備に対する支援事業として、1億9345万4千円の補正予算が組まれ、12月13日に審査が行われました。

本年5月以降、脳血管疾患の緊急手術が出ない体制となったため、斜網地域1市4町

で協議を重ね、網走厚生病院での診療科の開設、急性期医療体制及び病棟の確保の要請を行い、前向きに検討する旨の回答がありました。が、開設に最低限必要となる医療機器等の整備に伴う費用負担と運営に伴う収支実績に損失が生じた際の補填が求められ、1市4町としては「住民の命を守るためには費用負担もやむを得ない」との見解で一致、9月の第3回定例会で令和元年間の債務負担行為を設定しました。

負担額は1市4町で2億2千万円の見込みでしたが、最終的には2億4091万5千円となり、斜網地域救急医療体制づくりの負担割合に基づき網走市は80.3%で、1億934

5万4千円となりました。委員会では「見込みより2千万円も増えたのはなぜなのか」「医師の体制はどうなったのか」「診療はいつから出来るのか」など種々質疑があり「神経機能検査装置や超音波手術器などの医療機器が想定より高額だった」「医師は3人体制で、令和2年1月6日から外来開始、手術は2月1日から可能になる」などの答弁がありました。



議会報告会

網走桂陽高校で出前授業を 実施しました

市民により開かれた議会を目指して網走市議会は11月5日、網走桂陽高校の生徒との意見交換会を初めて実施しました。

網走桂陽高校の公開授業週間との共催で企画し、市議会議員15名が高校2年生36人と「選挙に行こう！」をテーマに意見を交わしました。

前段では、事前アンケートで「18歳になって参政権を得たら投票に行く」と答えた生徒が5割程度だったことを受け、地方議会が担っている役割や選挙の意義について議会側から説明。その後、議員と生徒と合わせて10人ずつのグループに分かれ、「どのような選挙だったら投票に行くか」「若者の投票率を

上げるにはどうしたら良いか」を議論しました。

意見交換では活発なやり取りがあり、「インターネットやスマートフォンを使って投票できるようにしてほしい」「演説を動画で配信して有権者に訴えては」「投票所以外で人が集まっている所で投票できれば便利」「議員と若い世代が触れ合う機会を増やすべき」「地域が良くなる具体的な提案があれば関心が高まる」などの声が寄せられました。

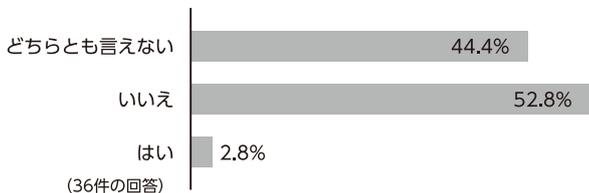
市議会は議会基本条例の策定に前後して平成25年から市民向けの議会報告会や意見交換会をこれまで計7回開催してきました。参政权年齢の18歳への引き下げや将来のまちづく

りの担い手となる若い世代の意向を政策に積極的に反映しようと桂陽高校生との意見交換会の実施に至りました。

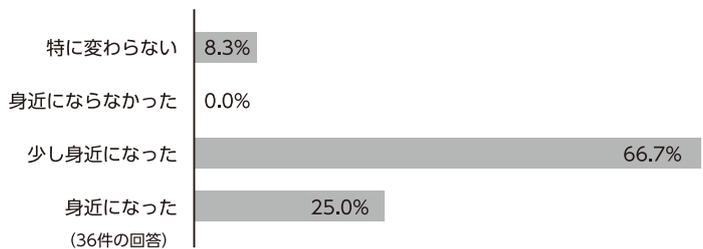


アンケート結果

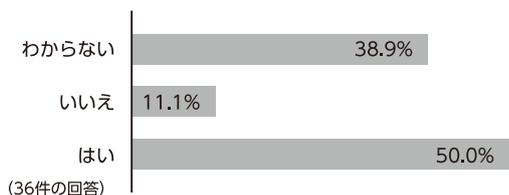
あなたにとって市議会または市議会議員は身近な存在ですか。



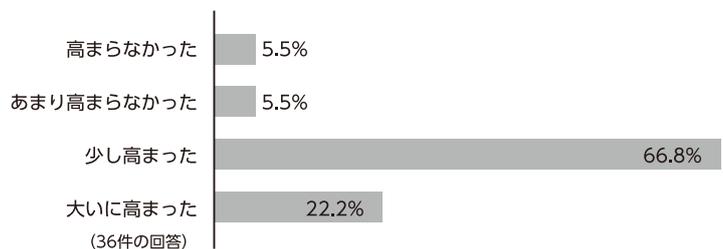
今回の出前授業に参加して市議会または市議会議員は身近になりましたか。



将来、選挙権（候補者に投票する権利）を得たら選挙に行きますか。



今回の出前授業に参加して「選挙の際は投票に行こう」という気持ちが高まりましたか。



一般質問から

健康寿命について
社会保障教育について

志誠会 古田 純也



問) 働き盛りの未病改善の取組みは。

答) 昨年から実施している男性限定の運動講座は20代から50代の働き盛りに好評。既存の各種事業とともに病気の予防や健康づくりのきっかけにつながっていると考えている。

問) 高齢者に対する血管・脳年齢測定器を導入、活用が望ましいと考えるが。

答) 測定器は高額で導入は難しい。1週間程度の借り受けが可能のため、各種行事などを通じて測定の機会を創出していきたい。

問) ライフリテラシー教材を導入した実践的な取組みが重要と考えるが、市の見解は。

答) 体験的な学習活動や地域の企業、組織と連携した学習活動を実施することは、有効であると認識。児童、生徒が社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を確実に養っていけるようにしていきたい。

外国人観光客に対する
災害時情報について

公明クラブ 澤谷 淳子



問) 11月に鹿児島県霧島市で開催された全国都市問題会議に参加し、霧島市のホームページが多言語化されており、外国人観光客も住民と同じ情報を見られるよう自助活動の支援をしていた。これから益々外国人観光客の増加が予想されるが、当市のフリーWi-Fiの環境は。また、ホームページの避難所の部分だけでも多言語化できないか。

答) フリーWi-Fiは1回60分、1日10回の回数制限があるが、大規模災害時は1回15分で回数制限なし、ポータル画面は日本語を含む7言語対応である。しかし、ホームページは一部英語表記のみであるため、国交省のセーフティ・ティップスという多言語対応アプリを活用することとし、今後も訪日外国人が安心して旅行を楽しめるよう情報環境の整備に努めてまいりたい。

民生委員協力員制度、
暴力から子どもを守る

公明クラブ 永本 浩子



問) 当市の民生委員の現状と課題は。

答) 定数106人に対し8人の欠員。平均年齢63歳で60、70代が7割。少子高齢化、相談の多様化、つながりの希薄化等で委員の負担が増大。今後、更に人材の確保が課題になる。

問) 民生委員協力員制度を導入すべきでは。

答) 委員の負担軽減と新たな人材の掘り起こしのために導入する自治体は増加している。民生委員とも意見交換し、研究していきたい。

問) 今年度の当市の児童虐待の状況は。

答) 相談件数は身体的虐待16件、性的虐待1件、ネグレクト4件。一時保護は10人。

問) 虐待事案は最悪の状況となる前の、正しい情報の共有と迅速な対応が大切。対策会議の開催等、市の対応体制の強化が必要では。

答) 市も重く受け止めており、業務の見直しや職員相互の連携による体制強化に取り組む。
※子ども自身が暴力に負けない力を養うCAPの導入やエキノコックスの周知も質問。

市財政の厳しさ認識は
未来志向のごみ施策を

志誠会 近藤 憲治



問) 令和2年度の予算編成方針に添付された中期財政見通しでは、令和元年度から令和5年度の5年間で約29億円の収支不足を見込んでいるほか、平成30年度の決算でも経常収支比率は97.4%と高止まりしている。市財政の状況は厳しい状況。現状の認識は。

答) 危機的な状況は脱したものの、意を用いて財政運営を心掛けなければならない状況と認識している。

問) 現状を是とせず、より効率的に、市民負担をより低減できるようなごみの処理方法を模索していく意識が行政サイドには必要。未来を見据えた政策検討を望みたいが、見解を。

答) 埋め立てごみを減らしていくためには、分別を徹底する以外にも、可能なものについては中間処理をして減量していくことも可能であると認識している。

※その他、広域連携による地域医療の確保や地域経済の活性化についても質問しました。

一般質問から

重要文化財防火対策、
行政改革などについて

民主市民ネット 川原田英世



問) 沖縄県の首里城火災をうけて、網走市にある重要文化財の防火対策は。

答) 消防設備と地下に防火水槽が設置。職員による自営消防隊が組織され、市や呼人の消防団と連携、訓練も実施されている。

問) 行政改革について。職員の確保や職員数は十分か。市民ニーズに答えられる組織体制か。職員の専門性を高める必要性は。PPP・PFIの推進について。今後の総人件費の抑制の考えは。

答) 専門職の確保は厳しい。職員数は欠員などにより負担もあるが適正化に努めている。組織体制については、今後も不断に見直していく。PPP・PFIの有効性は理解しているが、導入に当たっては研究が必要。総人件費の抑制については、効果を検証して検討していきたい。

※その他、スポーツツーリズムの推進について伺いました。

広域農道、人口ビジョン、
公共施設、その他について

志誠会 石垣 直樹



問) 広域農道の整備について進捗は。

答) 道道昇格については引き続き意見交換をしている。11月6日5箇所では交通量調査を実施した。局地的に国の交付金措置による改修工事を計画中。道道昇格を含め、局地的な改修工事を早急に行っていきたい。

問) 網走市人口ビジョンより現状は10年進み人口減少しているが、市の認識は。

答) 平成22年の国勢調査をもとに作成。住民登録されていない東京農大生、受刑者など約1,600人程度が含まれていない。含んだ場合でも38,616人となり約1,900人減少が進んでいると理解している。

問) 網走市公共施設等総合管理計画において30年間で345億円が不足すると試算されているが、現状について。

答) 大枠的な目標である。不足分を床面積で考えると所有施設総量の約3割削減する必要がある。進捗率は5.2%となっている。

障がい者雇用について
環境問題について

日本共産党議員団 村椿 敏章



問) 障がい者が働く場での虐待への対応は。

答) 市が窓口となり、虐待の場合、北海道が実地指導、虐待に至らない場合は市が事業者に対して状況確認し、口頭指導をしている。

問) 日体大附属高等支援学校の事業費は。

答) 土地建物、走路、設備で6億9300万円。走路は2分の1が国からの交付金。設備整備には「ふるさと基金」を使用している。

問) 今後、学校施設への市の支出の有無は。

答) 協定をH27年に結んでおり、日体大が必要とする設備整備を聞き、その中で判断する。

問) 網走市の地球温暖化対策は。

答) ストップ・ザ・温暖化のチラシ配布やアンケート実施などで、市民啓発をしている。生ごみの堆肥化で年2,143tのCO₂削減。能取のバイオマス発電所では燃料に森林伐採時に出る今までは現地廃棄であった林地残材を利用しており、温暖化対策になっている。

光ファイバー通信網と
アイヌ施策について

令和の会 栗田 政男



問) 当市の光ファイバー通信網の普及状況は。

答) 18,035世帯中全体の約4.6%が未普及地域である。

問) 大空町では郊外地域全戸に光通信を導入する方向であるが、スマート農業の推進と企業誘致のためにも当市でも導入を急ぐ必要があると思うが見解を。

答) オホーツク圏活性化期成会を通じて自治体間格差が生じないように国への要請を継続、必要とされる支援に取り組んでいきたい。

問) 本年4月に成立したアイヌ施策推進法についての認識は。

答) 従来の施策に加え、地域振興・観光振興などを加えた交付金制度が創設された。

問) 交付金活用の方向性は。

答) 交付金制度の活用にはアイヌ施策推進地域計画の策定が必要。当市のアイヌ協会と連携を図り、要望も伺って事業の方向性を見出していきたい。

一般質問から

地域貢献のための副業
について

志誠会 小田部 照



問) 人口減少に伴う労働力不足から外国人研修生の受入れ制度が改正され、外国人材の増加が予測される。介護の分野でも前向きな事業所もあるようだが、今後の取組みは。

答) 市内管理団体、受入れ機関と連携し、適宜適切な対応をしていく。介護事業所については受入れの意向を把握し、介護人材確保検討会で意見交換していきたい。

問) 労働力不足解消として政府は就業規定を改定し副業を原則容認とした。道内にも地域産業を守るため副業を解禁した自治体もあり、当市でも市職員に地域貢献という条件付きで副業を解禁し、市内事業所にも波及させていくよう検討していくべき。

答) 地域活動に関する兼業に取り組んでいる自治体があることは承知している。当市では直ちに、という段階にはないと認識しているが、先進自治体や近隣自治体の動向などを踏まえ、兼業制度について研究していきたい。

福祉灯油の支給で低所得者への支援を

日本共産党議員団 松浦 敏司



問) 灯油価格が高止まりしている。網走消費者協会の調べでは、1ℓ平均で95.5円。日用品の値上がり、2度にわたる消費増税で暮らしは厳しい。福祉灯油の実施をすべき。

答) 総務省は物価の状況を「緩やかに上昇」との見方。本年4月から乳製品・冷凍食品・食料品の値上げが実施され、消費税10%の影響はないとは言えないが、飲食品への軽減税率の適用、国は低所得者対策として幼児教育・保育の無償化、年金者支援給付金の支給、プレミアム商品券の販売などに取組んでおり、ある程度の影響緩和が図られていると認識。福祉灯油は灯油価格が90円台を推移しており、実施は考えていない。

問) プレミアム商品券の販売状況は。

答) 予定は18,280セット用意し、現在12,488セットの販売となっている。

問) 福祉灯油への北海道の支援策は。

答) 実施の場合、最大で70万円程度の助成。

北海道市議会議長会道東支部議員研修会

令和元年11月12日(火)帯広市において、道東支部議員研修会が開催され、当市からは14名の議員が参加しました。

「十勝をアウトドアの聖地に」という演題のもと、講師に(株)デスティネーション十勝代表取締役河合秀明氏をお迎えしての開催。(株)スノーピークと帯広市などが連携した十勝という地域でのキャンプを通じたアウトドア観光について、また、海外富裕層をターゲットとした受け入れなど様々な取り組み、そして今後の可能性について講演を受けました。

日本版DMOの一事例として、特に道外のアウトドアブランドと協力した事業であり、当市においても様々なチャレンジが必要であると考えさせられる講演でした。

網走ジェラートを前に
人権を尊重する網走市

民主市民ネット 平賀 貴幸



問) 網走のジェラートがイタリアのコンクールで2回目の優勝を果たした。キラークンテンツとして積極的に活用すべき。

答) この度の市内企業の製品が優勝したことは素晴らしい。今後もSNSなどを通じ網走の魅力を発信していきたい。更なる商品開発や営業展開は事業者とよく相談したい。

問) 国の国策製品と同じような位置付けのものを網走市でも設定しては。

答) 大きな視点の話として、情報収集を行い望ましい支援を考えていきたい。

問) 網走市議会で昭和48年に人権擁護都市宣言を決議。国もヘイトスピーチ規制法など人権擁護を推進。網走市の見解は。

答) 働く場所、家庭や地域、教育など生活のあらゆる場面で推進すべき課題だと認識。

問) LGBTsなど、多様な性の周知は。

答) 市広報誌への掲載や市民対象の講座開催を検討している。

新庁舎建設特別委員会

新庁舎建設特別委員
会では、11月5日に建
設候補地5か所の視察
を実施し、建設候補地
の課題について論点を
取りまとめ、議論を進
めてきました。その結
果として、候補地とし
て示されている市営桂
町球技場敷地と潮見除
雪センター敷地は不適
であるということが共
通認識となりました。
そして、来年の3月
に開催される定例会の
本会議において中間報
告を行うことを決定
し、12月13日に第8回
目となる新庁舎建設特
別委員会が開催され、
報告に向けて各委員か
ら建設地の考えが示さ
れました。



見、震災はいつ起こる
かわからないのですぐ
に建て替えを進めるべ
きとの意見、金市館ビ
ル跡地周辺は狭いので
隣接する土地を確保で
きる場合には検討する
が現状では新たな場所
を含めた他の候補地で
検討するべきなどの意
見が出されました。
建設地については各
委員で意見が一致しな
い状況ですが、今後は
中間報告にむけて報告
内容を議論するととも
に、新庁舎の機能につ
いても中間報告にむけ
て議論することとなり
ました。

第2回臨時会（10月）の議決結果について

○全会一致で可決した議案

議案第1号 平成31年度網走市一般会計補正予算

第4回定例会（12月）の議決結果について

議案と議決結果 (○：賛成、×：反対) ※議長は、議決に加わりません。	志 誠 会			民主市民ネット			公明クラブ		日本共産党議員団		令和の会				
	石垣 直樹	小田部 照	近藤 憲治	立崎 聡一	古田 純也	金兵 智則	川原 田英世	平賀 貴幸	山田 庫司郎	澤谷 淳子	永本 浩子	松浦 敏司	村椿 敏章	工藤 英治	栗田 政男
○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）															
議案第1号 平成31年度網走市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-	○
議案第10号 網走市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について															
○全会一致で可決した議案															
議案第2号 平成31年度網走市国民健康保険特別会計補正予算	議案第8号 地方公営企業法適用に伴う関係条例の整理に関する条例制定について														
議案第3号 平成31年度網走市公共下水道特別会計補正予算															
議案第4号 平成31年度網走市簡易水道特別会計補正予算	議案第9号 網走市附属機関条例及び報酬職員給与条例の一部を改正する条例制定について														
議案第5号 平成31年度網走市介護保険特別会計補正予算															
議案第6号 平成31年度網走市後期高齢者医療特別会計補正予算	報告第1号 平成31年度網走市一般会計補正予算に係る専決処分の報告について														
議案第7号 網走市公の施設に係る指定管理者の指定について															

※ 工藤英治議員は欠席

議会だよりを音声でお届けします

朗読ボランティア団体『声の図書館そよかぜ』は、音読や訪問朗読などの活動をしています。平成13年から目の不自由な方やご高齢の方々のために「議会だより」を朗読したCDを作成し、御希望の方々に無償で配布しております。

※CDをご希望の方は、網走市議会事務局までご連絡ください。

総務経済委員会行政視察報告

総務経済委員会は10月1日から4日、3都市で視察研修を行いました。

岐阜県美濃加茂市では、市のコミュニティバス（あい愛バス）運行事業について担当者から現状と課題を伺いました。路線バスの少ない地域でありコミュニティバスの必要性和要望は高く、今後の利便性確保、サービスの低下にならないことは重要とのことでした。一方で、利便性向上のために停留所を増加するのではなく、ある程度歩いていただく等の効率的かつ適正な運行を進める市民の協力も必要であり、当市における公共交通にもおおいに参考となりました。

大阪府大阪市では、LGBTに関する支援・大阪市パートナーシップ宣誓証明制度について伺いました。市民意識の向上が取り組むうえでの第一歩であること、実施の現状と課題を伺い当市においてもLGBTの取り組みの参考になりました。

新潟県長岡市では、市役所のまちなか移転と市街地のまちづくりについて伺いました。市役所のまちなか移転は一定の効果はあり、JR長岡駅と直結の屋根付き歩道（ペDESTリアンデッキ）で往来、イベント広場（ナカドマ）を利用したイベント、併設されているアリーナを拠点にしたバスケットボールチームアルビレックス新潟との連携。ペDESTリアンデッキもナカドマも屋根付きなので雪国対策は万全でした。

しかしながら、駅直結という利便性が逆効果になり、まちなかに寄らない等の問題もありましたが、当市にも取り入れるべき要素はありました。



文教民生委員会行政視察報告

文教民生委員会は10月8日から11日、3都市で視察を行いました。

岡山県では、全国知事会の先進政策大賞に選ばれた「通所付添サポート事業」を主導した岡山県庁と実際に実施している備前市で取組状況を視察しました。福祉施設車両の遊休時間帯を活用し、元気な高齢者等の住民がサポーターとなり、「通いの場」等に自力での参加が難しくなった高齢者の身支度準備を支援し連れ出す事業で、閉じこもりを防ぐだけでなく、男性の地域デビューや運営の担い手の世代交代にもつながっていました。

神奈川県大井町では、健康と病気の間を「未病」と位置づけ、民間企業と協働して造られた「未病改善」を体験できる施設「未病バレー ビオトピア」を訪問し、子どもから高齢者まで楽しみながら自分の体の状態を知れる様々なメニューを体験。血管年齢や脳年齢などの測定器を揃え「未病の見える化」に取り組む「いきいき大井健康ステーション」も視察しました。

茨城県つくば市では、筑波大学サイバニクス研究センターを訪問し、山海嘉之教授から「重介護ゼロ社会」の確立に向けた最先端のロボット工学と医療の連携や制度上の課題など、貴重なお話を伺いました。

